

そらこめ通信 No.39 2013.10発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。
 9月13日にマリアナ諸島近海で発生し、日本各地に大きな被害をもたらしながら北上した台風18号は、9月16日夜半に北海道東部をかすめて太平洋上で温帯低気圧になると、それと対応するかのように翌日9月17日からはそれまで降り続いた雨がウソのように晴れあがり、秋らしい快晴の天気になりました。その後は、にわか雨など多少不安定な場面もありましたが、稲刈りには全く支障のない天気が続いています。ただ、長く降り続いた雨のせいで、圃場の状態が思ったより悪く、ぬかるむために収穫作業に4~5日の遅れが出ているのが現状です。

先ほどの台風18号ですが、関西や北陸方面に大きな被害をもたらしました。特に、京都府福知山市などでは、相当大きな被害があったとのこと。北海道のお隣、青森県でもコメなどと共にリンゴにも落果などの被害があったようです。被害に遭われた方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、9月27日に農林水産省より2013年産米(水稻)の作況指数(9月15日現在)が発表されました。これによれば、北海道は3年連続で平年を上回り、105の「やや良」という指数だそうです。全国平均は102で、北海道は青森県と同じく全国最高値とのこと。作況指数とは平年収量に対する予想収量の割合を示すもので、食味とは直接的な関係はありません。しかし、収量の多い年はタンパク値も下がる傾向にあることから食味も良いと言われています。今年の新米は大いに期待が持てそうです。



「ななつほし」の圃場(9月4日)



新品種「きたくりん」の圃場(9月4日)



「ゆきがすみ」の圃場(9月4日)



「ゆきさやか」の圃場(9月4日)



「ゆきひかり」の圃場(9月4日)



「おぼろづき」の圃場(9月4日)



「ゆめびりか」の圃場(9月4日)



地元の神事「地鎮祭」(9月8日)



木村社長も参拝しました(9月8日)



稲刈り開始～試刈り(9月13日)



田んぼの中にいた「カエル」君(9月13日)



本格的な稲刈りの開始(9月18日)



トラックに籾を積み込む(9月18日)



乾燥機に籾を運び込む(9月18日)



籾はホッパーから乾燥機へ(9月18日)



籾を丁寧に均す作業(9月18日)



長雨でぬかるむ圃場のようす(9月22日)



隅刈りした籾を機械に投入(9月22日)



稲刈り終盤～「ゆめびりか」の刈入れと積み込み作業(9月27日)



新たに保冷库2台を増設(9月28日)

今年、本社の精米プラントに保冷库を新たに2台増設し、本社の保冷库は3台になりました。農場の方にも保冷库が1台あり、合計4台の保冷库で玄米を保存できるよう体制を強化しています。常に高い品質を保つことで、1年を通して皆様方に精米したての旨いお米をお届けできるよう最善を尽くす所存です。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です